

家畜衛生だより 平成26年 4月号

紀北家畜保健衛生所

TEL 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

TEL 0739-47-0974

東牟婁支所

TEL 0735-58-1481

平成26年度は家畜伝染病予防法第5条に基づく
ヨーネ病の定期検査を実施する年です。

ヨーネ病の定期検査は、5年に2回実施しており、検査の対象となるのは、6か月齢以上の乳用牛及び繁殖に供する目的で飼養している同居牛です。

検査は順次実施していくこととなりますのでご協力よろしくお願いします。

牛ヨーネ病について

ヨーネ病の全国での発生状況は、年々増加傾向にあり、昨年573頭(牛)で、北海道、青森、岩手で多く発生が認められました。一度農場が汚染されると、清浄化に大変な負担がかかります。

ヨーネ病は、慢性の頑固な下痢、乳量の低下、消瘦を主徴とし、発症までの数ヶ月から数年間は明確な症状を示さずに持続感染する牛、めん羊、山羊等の反すう動物の疾病です。

感染は、ヨーネ菌を含む患畜の糞便や乳汁を介した経口感染により成立しますが、重症例では胎児への胎盤感染も起こります。

【ヨーネ病発生届出状況(牛)】

H25 573頭 北海道433頭、青森38頭、岩手18頭 その他府県84頭

H24 405頭 北海道316頭、青森40頭、宮城14頭 その他県35頭

H23 615頭 北海道296頭、栃木56頭、群馬39頭 その他府県224頭

発生予防対策について

1. 牛を導入するにあたっては、ヨーネ病の発生していない農場から導入する。
2. 適切な飼養衛生管理を行う。
 - ・子牛は可能な限り早期に成牛群(母牛を含む)から離す。
 - ・清浄確認が行われている農場の初乳を給与する。
 - ・分娩牛房は清潔に保つ。
 - ・牛舎内(特に牛床、飼槽、ウォーターカップ)は常に清潔に保つ。等

検査手順について

検査対象: 6 か月齢以上の乳用牛及び繁殖に供する目的で飼養している同居牛

採血



陰性

スクリーニング検査(検査対象牛全頭実施) →→→→→→→→→→ 陰性牛

ヨーネ病に感染しているかどうか確定検査前に振り分ける。



陽性

糞便採取(スクリーニング検査陽性牛のみ)

採取後、当牛の生乳の出荷自粛及び隔離を実施



陰性

リアルタイム PCR 法(定性判定) →→→→→→→→→→ 陰性牛 生乳の出荷再開及び隔離解除

ヨーネ菌遺伝子の有無の確認



陽性

陰性

リアルタイム PCR 法(定量判定) →→→→→→→→→→ 陰性牛 生乳の出荷再開及び隔離解除

ヨーネ菌遺伝子の量の確認



陽性

患畜決定

殺処分、消毒等の実施

何かご質問等がございましたら、最寄りの家畜保健衛生所にお問い合わせください。